

議会 だより



令和4年1月19日

飯田市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.227

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534

R80
古紙配合率80%紙



GUINNESS WORLD RECORDS
町おこしニッポン
ギネス世界記録達成!!
世界で「最も長い鉄板 (Longest griddle)」に挑戦!! 2021.11.29 飯田焼肉の日
会場: 飯田駅前多目的広場(アイ・パーク)

焼肉の街
南信州・飯田



ギネス世界記録®町おこしニッポン

世界で最も長い鉄板

2021/11/29 飯田市飯田駅前多目的広場(アイ・パーク)

議員紹介・・・⑫

令和3年

第4回 臨時会

11月10日
開催(1日間)

第4回臨時会では、新型コロナウイルス感染症緊急対策事業第11弾に関連する令和3年度飯田市一般会計補正予算(第7号)案の審議を行い、原案のとおり可決しました。また、3件の専決処分報告を受けました。

新型コロナウイルス感染症緊急対策事業第11弾

① 事業者等への支援 「4事業」

▼飲食店関連事業者への支援

「飯田市飲食店関連事業者支援交付金給付」

▼中小企業者の感染対策に対する支援

「信州飯田もつと安心なお店補助金交付」

▼信州の安心なお店への抗原定性簡易検査キット配布

▼安全・安心な公共交通機関の維持 確保

「バス・タクシー感染症拡大防止支援金」

▼個人への支援 「1事業」

「コロナ禍及び灯油価格等高騰による生活困窮世帯等への生活支援

▼「お買いもの商品券(第10弾事業)の追加配布」

▼「新型コロナ感染症拡大を防ぐための水際対策

「これまで実施してきた抗原定性簡易検査キット配布事業の追加」

③ 感染予防対策 「1事業」

「これまで実施してきた抗原定性簡易検査キット配布事業の追加」

令和3年

第4回 定例会

11月24日
～
12月17日
開催

第4回定例会では、市長提出の報告案件1件、人事案件1件、条例案件13件、一般案件12件、予算案件7件の議案審議を行い、原案のとおり可決・同意しました。また、議員及び委員会提出議案は3件。請願及び陳情審査の結果等を受けて地方自治法第99条の規定により国等へ意見書提出を求めたもので、審議を行い原案のとおり可決され、意見書を送付することを決定しました。

子育て世帯への臨時特別給付金による 子育て世帯支援について

「子育て世帯への臨時特別給付金」については、国は当初、現金5万円の年内支給、追加5万円相当のクーポン券を支給する予定も、追加5万円を現金で支給、年内10万円一括支給も可能とし、さらには自治体の実情に応じるなどといった急な動向があり、飯田市では、「子育て世帯への臨時特別給付金」について、5万円を追加した10万円の現金一括給付とするため、閉会日に追加議案を提出、市議会は原案のとおり可決しました。

議案審議では、児童の養育世帯において年収が960万円以上の場合、支給の対象とならないという所得制限に関して質疑がありました。

Q 所得制限となる世帯数は、

A 飯田市では、子育て世帯への臨時特別給付金の支給対象は1万5千人余を見込み、そのうち650人に所得制限がかかる見通し。世帯換算すると、支給対象世帯数は6千600で、所得制限は250世帯にかかる見込み。

飯田市では、既に口座情報が確認できている対象者には、申請を不要とする「プッシュ型」支給の年内実施に向け、迅速な支給事務が進められます。

子育て世帯への臨時特別給付金についての問い合わせは、子育て支援課が窓口として対応していくとの説明がありました。



新型コロナの影響がさまざまに及ぶ中
未来を拓く子どもに力強い支援が求められる

新型コロナウイルス感染症にかかる 検査体制の強化について

飯田市議会では、国に対し、新型コロナウイルス感染症にかかる検査体制の強化を要望するため、長野県市議会議長会へ議題を提出しました。令和4年1月20日から開催される総会で協議される見通しです。
要望項目は以下のとおり。

1 無症状者や発症前の感染拡大防止については、抗原定性検査キットの活用が有効であることから、他国で実施されているように、「研究用」として市販されている抗原定性検査キットの性能比較を行い、公表することで適切な活用につなげ、経済回復のために、様々な場面で頻回(ひんかひ)に検査が行われるよう促すこと。

2 「オミクロン株」は、小児や若年者への感染が多いとも言われている。児童等が学校で感染して家庭内に持ち込むインフルエンザの事例からも、病院や高齢者施設などの従事者に対しては、関係する家族を頻回(ひんかひ)に検査することで、無症状で病院や施設にウイルスを持ち込んでクラスターが発生することを防ぐ効果が期待できる。

こうしたことから、高齢者施設等への抗原定性検査キットの配布を更に拡充し、特に、エッセンシャルワーカーの職場におけるクラスターが起きないように、従事者の家族を含め定期的な検査ができる体制を至急整えること。

市民との意見交換会の 開催について

市議会では、飯田市自治基本条例に基づいて「市民の声」を政策づくりに反映させるため、意見交換会を令和4年2月頃に開催する予定です。各委員会のテーマに応じて地区の皆様と意見交換を実施する方針です。関係者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

各委員会の意見交換テーマは次のとおり

▼総務委員会

「近年多発する豪雨災害、30年以内に発生するとされる大規模地震に対し地域自主防災体制は維持できるか」

▼社会文教委員会

「健康寿命の延伸」

▼産業建設委員会

「コロナ収束後を見据え、飯田への人の流れをつくるためには」



令和3年12月21日開催の
議長記者会見で発表

予算決算 委員会

予算決算委員会、及び分科会における予算議案の審査の様子は、YouTubeで動画配信しています。



新型コロナウイルスワクチン3回目の 接種開始に向けた体制整備について

飯田市は、国の示す方針に基づく新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を実施する。そのため体制整備として、接種対象者数を7万8,400名程度と想定し、接種費用のうち、令和3年12月から令和4年3月末までの1億7千万円余の補正予算を計上。2回目接種完了から8カ月以上が経過した方が対象となり、1回目、2回目と同様に、接種券到着後の予約に応じて、ワクチン接種を受けられます。

Q 3回目のワクチン接種に際して、市民からの副反応に対する不安の声を聞いている。3回目のワクチンの種類はどうなるか。

A 国から支給されたものを接種することになる。

Q ファイザー社製のワクチンを接種しているイメージか。

A モデルナ社製のワクチンが承認されれば、その支給もあるだろうが、医師会とも相談していく。市民へは情報が入り次第、周知していく。

代表質問 4～5ページ

各会派を代表して一人が市政全般について質問します。会派の意見を次年度の予算に反映できるよう、飯田市議会では、12月(第4回定例会)に代表質問を行っています。

一般質問 6～7ページ

市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関側に、事業の執行状況、将来的な方針などを質問し、政策につなげていくものです。第4回定例会では、11人の議員が質問しました。

ズバリ 市政を問う!

第4回定例会の代表質問と一般質問の概要を紹介します。

- ▶ 質問順に掲載。
- ▶ 末尾の■は、他の質問項目。
- ▶ 質問の様子は、YouTubeで動画配信しています。



リニア駅周辺整備について実施設計の進捗状況は



代表質問 新政いいだ

熊谷 泰人 議員

Q 実施設計の具体化に向け、市民の意見を聞き、どのように進めていくか。

A デザインノートでの「つくる目線」から「つかう目線」で整備を行っていくプロセスにおいて、行政だけでなく、将来の運営者や連携する事業者、設計者などにビジョンづくりから関わっていただき、計画段階から連携・協働していく体制を整え、多くの方に使われる空間づくりに取り組んでいる。駅周辺施設管理の持続可能な運営には、市民や地元事業者の協力が不可欠であり、意見を伺う体制等を整えていく。

Q 今後のスケジュールは。

A 現在、実施設計の作業と並行して次世代インフラPJ、トータルデザインPJ、ブランドクリエイティブPJの3つのPJ体制による研究と検討を進めている。令和4年度は実行フェーズに向けた体制の構築とより実際の検討を進める期間とし、令和5年度から土木道路整備の工事着手、令和7年から8年にかけて大屋根等上物の工事を行い、維持管理等の運営に関わる部分も工事と連動して進めていく予定である。

■市長の市政運営と予算編成方針に関して ■交流人口の拡大について



環境に配慮したまちづくりについて



代表質問 会派きぼう

清水 勇 議員

Q ゼロカーボンシティ宣言に基づいた水素など新エネルギーの研究と具体的な取り組みは。

A 水素発電は国内でも社会実装が少しずつ進んでおり、飯田市も加盟している飯田市脱炭素社会推進協議会において、その利用の可能性について検討がスタートしている。ここからの情報を得ながら検討していきたい。アンモニア発電については引き続き情報収集に努めていく。

Q 災害時にも有効なマイクログリッドの活用と今後の研究と取り組みは、リニア駅周辺整備事業への活用は。

A マイクログリッドの有益性は議員のご意見のとおりであり、積極的に考えていきたい。国の第6次エネルギー基本計画が掲げるように、地域的な広がりを目指すべく考えており、リニア駅周辺にも展開したい。そのためにも、川路地区での実証をしっかりと行い、市内の他地域での展開に生かせるよう可能性を模索していきたい。

■今後の市政運営について ■活力ある産業振興と地域活性化について ■子育て支援と医療・福祉・介護の充実について ■教育の充実と、人づくりの拠点施設について



日本一住みたいまちを目指し真価が問われる令和4年、 市政の見える化と長期財政見通しを問う



代表質問 会派みらい

原 和世 議員

Q 新たな政策の取り組みを、進行状況も含め市長と担当部署が丁寧
に市民に語り掛けるべきと考えるが。

A 今年度の20地区での市長と語るま
ちづくり懇談会は、市民意見か
らのテーマで対話するスタイルをとつ
た。来年度は、市の取り組み状況から、
地区のテーマや課題を通じて、未来デ
ザインの進捗などを伝えていきたい。
また、動画配信を通じて市民へ語り
かけることは有効であると考えてお
り、今後さらに取り組んでいく考え。

Q 長期財政見通しで示す財政運営
の考え方と、期間内に想定する
市民要望の高い事業を明示する考え
は。

A 財政運営の考え方は積極的な投
資への転換であり、今後10年間
の大規模事業を推進していく上で、一
定の許容範囲を設定し、そのものさ
しを持って実施していくために示し
た。想定はしているが、見通しとし
ては、事業規模を示す段階まで整理
ができていない事業であって、今後
に事業費の見通しがついた段階で示す
こととしたい。

■産業政策に関して ■教育文化政策
に関して ■当面する行政課題に対して



山・里・街の魅力を高め連携と交流によるグローバルなまちづくり ～飯田市への人の流れをつくるには～



代表質問 公明党

永井 一英 議員

Q 生活に合わせた業務環境を用
意するなど女性のUターン希
望者に絞った政策、女性に光を
当てた政策の必要性は。

A ふるさとを離れた20代、30代
女性のUターン率が低いこと
については、課題として認識してい
る。議員に紹介いただいた塩尻市の
テレワークによるひとり親向け就労
支援「KADO」は興味深い。女性
に光を当てることについては、就労
支援に限らず、考えるべきポイント
と認識している。

Q Z世代の関心をつかむには、ア
プリひとつで就職情報など飯田市
の様々な情報が得られるプッシュ型
の情報提供が必要ではないか。

A 伝えたい情報を、対象とする市
民へ届けるためには、プッシュ
型の情報提供は不可欠と考えてい
る。スマートフォンアプリを使え
ば、それが可能であり、どのような
アプリをつくれれば効果的か研究を
していく必要がある。特に、Z世代に
とって、飯田市へ帰って来ることの
動機付けになるような情報発信を
しっかり考えていきたい。

■暮らしと生命を守る安全安心で快
適なまちづくりに向けて



市長の政治姿勢と「新・環境文化都市」プラン 2050年「日本一住みたいまち」の実現に向けて



代表質問 日本共産党

古川 仁 議員

Q 市政運営全般は、憲法第25条の精
神に基づくべきと考えるがどうか。

A 憲法の精神にのっとって行政を
行うことは基本的なことである。
そして、社会福祉、教育、産業振興、イ
ンフラ整備などの公的サービスは、行
政の責任として公助で行うものであ
り、そこに年齢などによる区別はない
と考える。

Q 高齢化・後継者不足により農業
経営の維持が難しいと聞すが、
今後の農業振興策の展開は。

A 農家の高齢化の問題は、その農
家の後継者が農業を継承するこ
とが重要であると考える。市として
は、集落単位で将来像を話し合う
「人・農地プラン」の実質化をさら
に進め、農業機械の共同所有や地域
の共同活動を支援していく。それ
でも難しい場合は地域や集落を越え、
認定農業者等に耕作を頼んだり、新
規就農者支援を通して農地を荒廃さ
せない取り組みを進めている。「続け
られる農業」、「これから始められる
農業」も視野に入れながら展開して
いく。

■教育・子育てについて ■生活の向
上・自然環境について ■リニア中央
新幹線について

今後10年間の財政見通しと 財政運営目標について

福澤 克憲 議員 (会派きぼう)



Q 目標や指標を基本としつつも、今後10年しっかりと投資すべきは、投資していく段階ではないか。

A 今後10年間は、投資すべきは投資していく必要がある期間であり、実質公債費比率、地方債残高を指標にしながら、必要な投資がどこまで可能か図りながら財政運営に努めていく。今回お示しした財政見通しをものさしにして、毎年の予算査定の中で確認しながら、必要な事業に取り組んでいきたい。

■働くことを軸とする安心社会の実現に向けて

小規模校の今後について

清水 優一郎 議員 (新政いいだ)



Q 市内小規模校の現状と課題、今後の進め方、教育長の考えは。

A 令和9年度までに市全体の児童数は約1,000人減少する見込みで、複式学級となるのは千代小、千栄小、上久堅小が加わり全5校となる。教員数の減少による指導力の低下や学校運営への影響が懸念される。また、小規模校に限らず施設の老朽化が課題で、学校運営協議会での意見交換会を始め、進め方は研究会で審議している。

■技術職員の育成と確保が必要と考えるが、どう取り組むか

リニア中央新幹線工事の 今後の見通しと課題

筒井 誠逸 議員 (新政いいだ)



Q 2027年リニア開業の見通しと見解、座光寺地区のフード問題は。

A 開業への進捗状況は遅れているものの、長野県は予定通り進めたいという意向を持っており、市も県に合わせて進めていく方針。防音壁区間では、騒音の環境基準のクリアが困難な区間があり、JR東海は個別の屋内環境対策等の実施を表明している。今後もJR東海へ地元要望に対する丁寧な説明と対応を行うよう求めていく。騒音の低減に関しては、市としても強く要望していく。

児童生徒の不登校への 基本的認識について

岡田 倫英 議員 (会派きぼう)



Q 不登校は問題行動ではないと国が示しているが、市教育委員会では市民の理解をどう得ようとしているか。

A 学校現場では、不登校は問題行動ではないという考え方が浸透してきていると思うが、地域や学校関係者以外には、そこまで認識が広がってはいない状況と捉えている。各学校の学校運営協議会でも課題を共有しながら、地域から理解を広げていくよう取り組んでいく。

■建築用木材の不足等によるウッドショックについて

ともに生きる 地域共生社会について

佐々木 博子 議員 (会派みらい)



Q 地域共生社会における自立についてどう考えるか。

A 障がい児・者の扶養者が亡くなった後も、自身が高齢になっても、障がいの程度や生活の能力に関わらず、その人らしい生活を送ることができるとが自立であり、それをお互いに支え合える地域こそ、地域共生社会の目指す姿である。

そのためには、地域や社会が障がいを理解し、認め合えることが重要と考える。



福祉・教育・介護の 実態について

市瀬 芳明 議員 (日本共産党)



Q 加齢性難聴の方で、制度の対象とならない方への補助制度を拡充する考えは。

A 長野県議会でも過去に「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書」を国に提出した経緯がある。国・県の支援の動向を注視するとともに、現在の介護保険事業計画・高齢者福祉計画の期間内において「在宅福祉サービスの見直し」を位置づけているので、総合的に検討を進めていきたい。

合併浄化槽利用者への市が行っている補助は

橋爪重人 議員 (新政いいだ)



Q 個人が管理する合併浄化槽の法定検査手数料や点検費用に対する市の補助は。

A 市では検査手数料に関して直接支援はしていないが、維持管理費用の中で主に負担の大きい汚泥の引き抜き清掃に係る費用の2分の1を補助して支援している。今年度から補助上限額を1万円から1万5千円へ拡充しており、維持管理費全般に対する支援と捉えてほしい。浄化槽利用者に対し、適正な管理の周知啓発活動を行い、必要な支援を継続したい。

地域の賑わいとスポーツ振興について

宮脇邦彦 議員 (公明党)



Q アーバンスポーツを使った若者のスポーツ離れ解消への取り組みを、地域の賑わいへと結びつけるには。

A 子どもの頃や若い時にスポーツの楽しさを体感することは、生涯のスポーツにつながるため、アーバンスポーツを含めてスポーツは素晴らしいと感じてもらうことは大事である。連帯することがアーバンスポーツの大きなひとつの要素とするならば、新たなコミュニティ、地域の賑わい、活性化につながると考えられる。

ポストコロナへ向けたインバウンド対応について

小林真一 議員 (公明党)



Q リニア・三遠南信時代へ向け、ウイズコロナ・ポストコロナを見据えたインバウンドへの認識、考え方は。

A コロナ前の東京や富士山などのゴールデンルートから、ジャパンオリジンと言われる日常や地方の伝統文化などに触れる旅になることを予想し期待する。南信州地域は農村風景、伝統文化など旅の目的地として多彩な魅力を発揮できると思っている。地域の人、暮らしに触れてもらえる旅の展開を、インバウンドの皆さんに提供できたらいいと考える。

「遊休農地」解消に向け飯田市の果たす役割は

下平恒男 議員 (新政いいだ)



Q 遊休農地の解消には、專業農家の力が不可欠。新規就農、親元就農の増加に向けて飯田市の果たす役割は。

A 親元での新規就農後に必要な費用の一部を一時金として補助する市独自の親元就農時の支援事業を充実させるほか、就農計画の策定や農業技術等の習得のサポート、農地・住まい・低廉な設備投資の斡旋など、将来、地区の中心経営体として自立できるように、寄り添い支えていくことが重要と考えている。(当市での20〜30代の農業従事者は全体の2%)

地域の子どもたちをどう支えていくか

関島百合 議員 (無党派)



Q 家族の介護や世話を担う18歳未満の子ども(ヤングケアラー)の把握と支援は。

A 飯田市こども家庭応援センターでは、ネグレクトによるヤングケアラーを現在7件把握している。国もヤングケアラーの支援について検討をはじめており、介護保険サービスを適用できるとした通達を令和3年7月に出している。また、教育現場では、子どもがSOSを出しやすい環境づくりに取り組んできている。

■子ども食堂について

長野県宅地建物取引業協会との懇談について

産業建設委員会では、12月3日に、公益社団法人 長野県宅地建物取引業協会南信支部の皆さんと懇談を実施しました。

懇談では、農業振興地域農用地の農用地区域からの除外手続き、農地転用手続き、その他不動産取引に関連する課題について意見交換をしました。



総務委員会

12月9日に
委員会等を開催。



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

総務委員会における審査から

公の施設の指定管理者の指定について

(議案第111号)

《飯田市21世紀環境共生型モデル住宅》

Q 指定管理を行う企業の丘の上の営業店舗
になってしまわないか。

A 指定管理者制度は、民間企業等が持つノ
ウハウを公の施設の管理運営に生かして
いく制度であり、当市には民間企業による指
定管理の例は他にもある。指定管理者制度に
関する市の運用マニュアルと国の通知に従い、
中立性を担保していく。

Q 施設の設置目的を果たしているか。また、
それをどう評価するか。指定管理者への
ミッションの指示が必要であるが、目標設定
はどうか。

A 施設の定量的な運営目標数値については、
事務事業実績評価表にて報告していく。
定性的な目標の進め方については、議決後に
指定管理者と締結する協定において定め、事
務事業実績評価表により成果を市として報告
していく。

飯田市過疎地域持続的発展計画の策定に
ついて(議案第106号)

Q いろいろな事業を行っていくとのことだ
が、事業期間が経過してしまうと、開始
した事業が途切れてしまわないか。また、財
源としてどのような見通しを立てているか。

A 事業実施にあたっては、国の新たな過疎
法の動きもにらみつつ、優先順位をつけ
て執行していく。

【要望】 地域が困らないよう、過疎債は、ど
の程度踏み込んでいくか。各担当課の積み上
げなどを示してほしい。



地域住民の皆さんとともに意欲や活力を
大切にした地域振興の推進を図りたい



糸魚川フォッサマグナミュージアムを視察

委員会の所管事務調査として

視察を実施

総務委員会では、所管事務調査として、10
月26日から27日までの間、県外2市の先進的
な取り組み事例について視察を行いました。

▼新潟県糸魚川市

「防災の取り組み・ジオパークの取り組み」

▼新潟県妙高市

「自然環境の保護、保全の取り組み」

今回の視察結果を受け、今後の政策提言等
につなげていくなど市政充実に生かしてま
いります。

社会文教委員会

12月10日に
委員会等を開催。



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

飯田市民館の(仮称)飯田駅前プラザへの移転に関して(議案第106・107号)

市は、飯田市民館条例を一部改正し、飯田市民館を現在の吾妻町から東和町の(仮称)飯田駅前プラザの2階・3階部へ移転する予定。移転にあたって、これまでの公民館機能を維持しながら、施設の公共空間における学習・交流から実践活動までの一貫した支援体制を整え、地域の人材を育ていく方針。さらに、施設には、デジタル技術で年間を通じ「まち」を丸ごと楽しめるコンテンツの拠点としてXR室も整備される。

Q ヒト・モノ・コトが集まる「創発の場」として、公民館や図書館など多くの機能をもった施設にするということだが、実現に向けた取り組みは。

A まずは、飯田市民館の移転に際し、現在の利用者が困らないよう、利用者会議をこれまでに3回開催するとともに、個別の聞き取りも行ってきた。また、創発の場に関しては、市民ワーキングをこれまでに6回開催し、今後、若者ワーキング、高校生ワーキングなどを開催し、意見交換を行っていく。

Q 令和4年5月にオープンする予定の中で、ワーキングでの検討は重要であろうが、もっと市民全体へ広げていく必要があると考えるが、どうか。

A 「創発の場」を利用し、活動したい方を今後募っていく。そのための情報発信も推進していく。また、ワーキングに関わる市民の皆さんには、オープン後も引き続き関わっていただくように考えている。

Q 公民館の利用者や利用グループ間の交流に関し、現在の交流の状況からの課題認識は。

A これまでの貸館から、(仮称)飯田駅前プラザでは、オープンスペースの活動を一層支援し、交流を推進していく。

Q ホール機能に関し、これまで飯田市民館のホールを利用してきた団体にとって、飯田文化会館では規模が大きすぎるため、活動が続けにくいと考えるが、どうか。

A ホールに関しては、市の公共施設マネジメントにおいて検討し、飯田市民館のホールは閉鎖する方針となった。鼎文化センターや飯田文化会館のホールの利用へ移行していただきたい。

◇(仮称)飯田駅前プラザへの飯田市民館の移転に関連して高羽町テニスコートを用途廃止し、駐車可能台数55台程度の駐車場に整備(駐車料金は無料の予定)することに關しても、社会文教委員会へ説明がありました。

上久堅 北田遺跡公園の指定管理について (議案第118号)

北田遺跡公園は、農業構造改善事業に先立つ昭和61年度の発掘調査で、縄文時代から中世にかけての多数の住居址が調査され、当時の上久堅地区自治協議会が地元出身の方の寄附を受けて縄文時代と古墳時代の2棟の復元住居と休憩施設を整備し、昭和63年度に市が寄附を受けた施設。平成20年度より指定管理制度を導入し、上久堅地区まちづくり委員会を指定管理者として更新してきている。

Q 施設の老朽化や、地元の管理者の高齢化が進んでおり、管理や維持について懸念しているが、市の認識は。

A 指定管理や施設を取り巻く状況は、指摘のとおりである。今後も適切な管理・維持が続くように、指定管理者と相談し、市として指導・監督していく。



市の指定管理施設は現在92件
適切な管理が求められる

産業建設委員会

12月13日に
委員会等を開催。



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

飯田市水道条例の一部を改正する条例の
制定に関して（議案第106号）

Q 手数料について規定する条例第33条の改正により、消費税を非課税とした法令上の根拠は。

A 消費税法第6条が消費税を課さないものとして規定する別表第1の5の「役務の提供」のイに該当し、消費税法施行令第12条第1項第1号のニが規定する「法令」に、飯田市水道条例が含まれると国税当局が解釈したため。

Q 今まで消費税の課税対象とし、今回非課税とすることだが、平成13年の7月1日から消費税の課税対象としたのはなぜか。

A 平成12年度に飯田税務署が消費税の実地調査を行い、消費税の課税対象となる旨の指導があった。その後条例改正を行い、課税対象として扱ってきた。

Q 消費税の還付対象となる期間は。

A 令和2年4月1日から令和3年12月31日までの分となる。

Q 令和2年度分の消費税の還付総額は。

A 1,200件、600人を対象とし、還付総額は、37万円ほどになる。

飯田市南信濃観光施設等条例の一部を改正する条例の制定に関して（議案第105号）

Q 「天仁の杜」（てんじんのもり）の解体及び撤去に係るスケジュールと青崩れトンネルの掘削工事による発生土の搬入時期は。

A 施設の解体及び撤去は令和4年度に実施する予定。国が行う工事の設計と並行して、工事予定地が一部河川区域となるため、県とも協議を進めている。協議が整い次第、工事に着手したいと考えており、令和4年1月の工事発注ができるように準備を進めている。

Q 遠山川の河床の上昇で浸水被害が発生している箇所を発生土置き場とすることの理由は。

A 国からの適地提案の要望に応じて、市としても複数の候補地を挙げてきている。本件土地は河川に隣接する低地で、トンネルから発生土を運ぶ距離が比較的短く、面積が4haあることなどを考慮して適地として判断したと聞く。発生土置き場としてかさ上げをすること、今後、土地の活用の可能性が開ける。



「天仁の杜」は令和4年度中に解体と撤去の予定

《産業建設分科会》令和3年度補正予算審査

道路維持費の道路補修工事費に関して、
通学路緊急合同点検の結果、安全対策工
事が必要となった個所について

Q 通学路緊急合同点検の結果、安全対策工事が必要となった個所の数と内容は。

A 145カ所の緊急点検を行い、ハード対策が必要な個所が82カ所あった。そのうち、土木課が担当する個所が31カ所となった。既に通学路安全対策アクションプログラムに掲載されて事業化されている6カ所と、公安委員会と共に実施する信号機の交差点改良による1カ所を除いた24カ所について、今回緊急対策工事として予算計上するもの。

Q 通学路緊急合同点検で見つかった個所のうち、土木課が担当するものについては、今年度中に工事が完了すると捉えてよいか。

A 当該個所は、今年度中に工事が完了する。



通学路の緊急合同点検を行って
緊急対策工事が必要となる個所を確認

リニア推進 特別委員会

12月15日に
委員会等を開催。

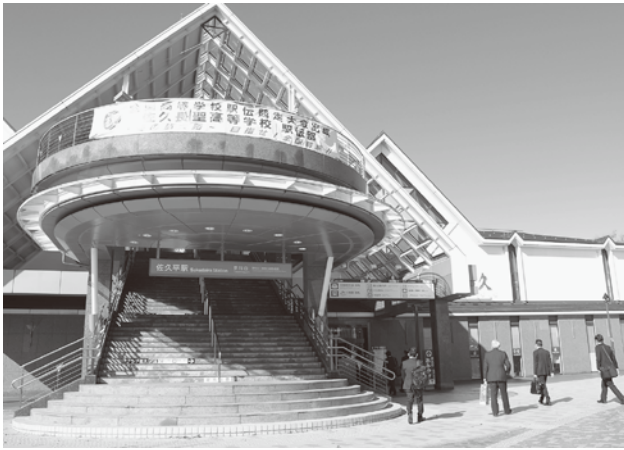


委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

県内の北陸新幹線駅の視察に関して

リニア推進特別委員会では、新型コロナウイルスの感染警戒レベルが一時下がった7月と11月に北陸新幹線の長野県内駅である飯山駅と長野駅、佐久平駅の現地視察を実施しました。

視察では、駅周辺整備を担当した行政機関から事業の経緯・現状・今後の方針などの説明を聞きました。



八ヶ岳連峰をイメージした佐久平駅
新型コロナ前の2019年の利用者は1日あたり3千人

北陸新幹線佐久平駅の視察に関して

陸の孤島と言われた佐久市は、佐久平駅の設置にあたって区画整備事業を導入し、後継者のいない広大な農地を開発。新幹線を活用した暮らしや民間企業の進出、新たな雇用創出や固定資産税の増加などにつながって、市域全体に駅設置の効果が普及しています。駅周辺では、人口増にもつながっています。

北陸新幹線飯山駅・長野駅について

飯山駅では、北陸新幹線の開業効果を生かすため、駅を中心とする圏域のさまざまな資源を生かした広域観光ゲートウェイに取り組んでいます。しかし、新型コロナウイルスの影響により、インバウンドをはじめとする観光客の利用が激減し、視察時は、駅周辺のホテル建設予定地が空き地の状態でした。

また、長野駅では、「長野県の玄関口」として、民間企業の集積や情報発信が推進されています。社会情勢や市民ニーズの変化にに応じ、区画整理事業が導入されて、駅舎や街並みを含めたリニューアールがされてきています。

飯山駅の駅舎内は、地元産の木材を使って、温かい雰囲気を作り出しています。

木材の利用については、リニア駅では周辺の大屋根のイニシャルコスト、ランニングコストが課題になると捉えています。

中央新幹線トンネル工事における 発生土運搬車両の通行等について

工用トンネルの掘削が進められている中央アルプストーンネル(松川)の掘削発生土は、喬木村(阿島)を中心に、下久堅などへ運搬されています。また、風越山トンネル(黒田)の非常口トンネル掘削のため、工事施工ヤードの造成に必要な土砂の搬入も進められています。安全な工事とともに、市民生活に影響の大きい土砂運搬の車両の安全な運行が、引き続き求められます。



2021年9月から工用トンネルを掘削している
中央アルプストーンネル(松川)

リニア推進特別委員会では、視察や調査研究を推進し、政策提言につなげていきます。活動状況は、飯田市議会のホームページでご確認ください。
飯田市議会 リニアで検索

議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～ 機械が無ければ ～

はしづめ しげ と
橋爪 重人

40年前の農業機械で、家にあったのは耕運機1台だけでした。水田の耕運と代掻き、畑を耕すのに使用して他の農作業はすべて手作業でした。それが家にあるエンジン付きの農業機械を数えてみると14種類16台所有しています。トラクターから始まりバインダー・ハーベスター・管理機・ビーパー等々、すべての農作業に農業機械を使用しています。中でも機種によっては年に1日使用するかどうかの機械も結構あります。ほとんどの機械が中古品ですが、購入した金額は馬鹿になりません。エンジンを共用してアタッチメント(作業をする部分)を取り換えると、数種の農作業ができてしまう機械があればと常々感じています。



～ 余暇を楽しむ ～

にしもり むつ み
西森 六三

平成3年春、東京より南信濃へUターンして結婚、その年に夫婦共通の趣味として射撃を始め30年が過ぎました。射撃は男女の区別なくメンタルとテクニックを競うスポーツにて集中力向上および平常心維持の訓練となります。若い人達には是非、資格を取得してやって欲しいと思います。ちょっとマニアックなスポーツですが楽しいですよ。



議会の動き(予定)

■ 第1回定例会

開会2月24日(木)～閉会3月22日(火)

□ 一般質問 (傍聴可能)

3月9日(水)～10日(木)

□ 委員会日程 (傍聴可能)

予算決算委員会前期全体会 2月24日(木)

総務委員会 3月1日(火)～3月2日(水)

社会文教委員会 3月2日(水)～3月3日(木)

産業建設委員会 3月3日(木)～3月4日(金)

リニア推進特別委員会 3月8日(火)

予算決算委員会後期全体会 3月17日(木)

■ 議会への請願・陳情は、議会事務局へ

2月9日(水)午後5時までに提出ください。

議会傍聴に際してのお願い

新型コロナウイルス感染症対策のため、長野県が発出する警戒レベルや市議会災害対策会議の協議の結果に応じて、傍聴の自粛や入場者数の制限、マスク着用や検温などをお願いすることがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

広報広聴委員会

委員長 福澤 克憲	副委員長 清水 勇
委員 下平 恒男	橋爪 重人 関島 百合
筒井 誠逸	小林 真一 佐々木博子

表紙紹介

がんばっとるに!! 飯田焼肉

飯田市は「日本一の焼肉の街」として、2021年11月29日の「飯田焼肉の日」にアイ・パークで11.29mの長い鉄板を使った焼肉に挑戦し、「世界で最も長い鉄板」のギネス世界記録®に認定されました。

この取り組みは市民有志団体からの提案によって実現したもので、飯田市を世界に向けて発信するとともに、「飯田焼肉」で地域を元気にしようと、市民と飯田市が協働した実行委員会を取り組みました。

当日、会場には、クラウドファンディングで応援していただいた市内外の支援者の皆さんにも参加していただき、地元産マトン・南信州牛・地元ブランド豚を味わった後に、ギネス世界記録公式認定員から世界記録認定の宣言があると会場全体で喜びを分かち合いました。

